

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践とあるが、スピーチロックに関しては日々のケアの中で細心の注意をもっと、もっと払っていかなければならない。次年度も継続の課題としたい。	気づいたその場で職員同士が互いに声を掛け合い、注意をし合う環境づくりが出来つつあると思われる。だが日常のケアの意志下において実践し注意をしなければならない場面がある。改善は認められるものの、さらに研鑽していきたい。	3年間の継続で、得てきた経験と実績を踏まえその場での声掛けの注意は入居者様の影響も考慮し、合図やジェスチャー等を取りれもっと迅速な注意体制を作っていきたい。4年間の継続目標となるが、新職員の増員が決定している為、更なる結果の出せる研修や職員会議においても意識づけと実践に即した対応と、振り返りを重ねていくことが必要と考える。	12ヶ月
2	13	コロナ禍も相まって、地域との連携も希薄になってきている今、特に災害時の不安は、入居者様の認知レベル、ADLの進みを考えるとますます事業所内での災害対策の強化を課題としたい。	入居者様の年齢、認知レベル、ADLのすべてを考慮するとともに、水害、地震、火災等細やかな対応が必要になってきている今、職員に意識の統一と実践の遂行を図っていきたい。	繰り返しの避難訓練(水害時、地震時、火災時)昼間、夜間共に定期的実施。職員が入居者様各人の認知レベル、ADLをしっかり把握。行動に移せるよう実施していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。